

PRESS RELEASE



# 1/9(金) 大学院企画セミナー

## 京都大学大学院医学研究科皮膚科学 樋島 健治 教授を講師に招聘

### 【本件のポイント】

- 第一線で活躍する研究者を招いての特別講義
- アトピー性皮膚炎に関する最新の知見を紹介
- 基礎研究成果の新規治療開発についても概説

学校法人関西医科大学（大阪府枚方市 理事長・山下敏夫、学長・木梨達雄）は、1月9日（金）17:30～19:00に2025年度第1回大学院企画セミナーを実施いたします。これは、各分野の第一人者を招き、本学大学院生・教職員・学部学生、および学内外の関係者を対象に行う特別講義です。

今回は「アトピー性皮膚炎の病態解明から臨床応用」をテーマに、樋島健治氏（京都大学大学院医学研究科皮膚科学）が講師を務めます。樋島氏は1996年に京都大学医学部を卒業。京都大学大学院医学研究科での博士（医学）取得に続き、UCSF、産業医科大学などで研究を展開し、第一線で活躍されています。講師のプロフィール、講演の概要および聴講のお申込み方法については、次項をご覧ください。



日時	講師および講演内容	会場
1月9日（金） 17:30～19:00	「アトピー性皮膚炎の病態解明から臨床応用」 京都大学大学院医学研究科皮膚科学教授 樋島 健治 氏	関西医科大学 枚方キャンパス医学部棟 1階加多乃講堂 大阪府枚方市新町2-5-1

※会場および講演内容は、一部変更になる場合があります。

※一般の方は、聴講に際して事前申し込みが必要です。（次頁をご覧ください。）

### 【本件取材についてのお問合せ】

学校法人 関西医科大学 広報戦略室（清水・佐脇）

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

電話：072-804-2128 ファクス：072-804-2638 メール：[kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp](mailto:kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp)

PRESS RELEASE

《講師プロフィール》

■梶島 健治（かばしま けんじ）氏

京都大学大学院医学研究科 皮膚科学 教授

1996年 京都大学医学部卒業。京都大学医学部附属病院、米国 University of Washington Medical Center 等で臨床・研究・研修を行う。京都大学大学院医学研究科にて博士（医学）を取得後、UCSF（カリフォルニア大学サンフランシスコ校）、産業医科大学などで研究を展開。皮膚免疫学を専門とし、アトピー性皮膚炎、乾癬、接触皮膚炎などの病態解明と治療応用に取り組む。誘導性皮膚関連リンパ組織（iSALT）の概念提唱や、IL-31 受容体抗体（ネモリズマブ）、外用 JAK 阻害薬（デルゴシチニブ）などの開発に貢献。現在、日本皮膚科学会・日本免疫学会理事、JACI・JID など国際誌の編集委員を務める。趣味はマラソンとゴルフ。



《講演要旨》

アトピー性皮膚炎は、皮膚バリア障害、免疫異常、神経系の相互作用を基盤とする代表的な慢性炎症性皮膚疾患である。本講演では、これまでに明らかとなってきたサイトカインネットワークや皮膚免疫微小環境の理解を概説し、誘導性皮膚関連リンパ組織（iSALT）などの基礎研究の成果が、IL-31 受容体抗体や JAK 阻害薬といった新規治療の開発へどのようにつながったかを紹介する。さらに、基礎研究から臨床応用へ橋渡しする研究の視点や、大学院生へのメッセージについても述べたい。

2

《聴講お申込み（一般の方）》

下記事項を記入し、メール（gradumed@hirakata.kmu.ac.jp）にてお申込みください。

1. ご芳名
2. ご所属
3. ご連絡先（TEL、FAX、E-MAIL）

《聴講（取材）お申込み（メディア関係者の方）》

「広報戦略室（kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp、072-804-2128）」宛に下記をご連絡ください。

- ・媒体名
- ・ご芳名
- ・ご連絡先（TEL、FAX、E-MAIL）
- ・取材予定人数

※なお、本学に駐車場のご用意はございません。恐れ入りますが近隣の駐車場をご利用ください。

【本件取材についてのお問合せ】

学校法人 関西医科大学 広報戦略室（清水・佐脇）

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

電話：072-804-2128 ファクス：072-804-2638 メール：kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp